

会 議 録

件 名	学文路小学校保護者説明会・意見交換会（第1回）
日 時	令和6年6月1日（土）午後1時00分から午後2時05分まで
場 所	学文路小学校 体育館
参加者	保護者 6名（家庭数6） 今田教育長、岡教育部長、阪口参事、丸山教育総務課長、大谷学校教育課長 長谷川生涯学習課長、森田教育センター長、東川、中山 簗下教育委員、田中教育委員

今田教育長挨拶、丸山教育総務課長から資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。
なお、出席した保護者には、後日、意見等を記入できる用紙を配布しました。欠席した保護者にも資料を配布とともに意見等を記入できる用紙を配布します。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1-1. 今日はこのような会を開いていただきありがとうございます。

資料の13ページに橋本市が目指す学校づくりがありますが、この「持続可能な社会の創り手の育成」というのは、具体的にはどんなのですか。どういうふうに子供を育成したいのかがよくわからないのですが。

（教育委員会）

学校教育で目指す子供像として「未来を創造し、たくましく生きる」とさせてもらっていますが、今もそれぞれの各小学校、中学校でも取り組んでいることですが、まずはしっかりと基礎学力をつける。そして、これからのいろんな社会環境の変化の中で、子供たちは生き抜いていく力というのを養っていく必要があると考えています。その中で、外国語が小学校の教科になり、あるいはAIがツールとして普通になっている中で、子供たちがこれから受験というものを控えて進学するにあたって、どのような社会に進んでも生き抜いていく力、たくましく生きるというのを目指したいということで、子供たちがこういう基礎を養っていただきたいと考えています。

1-2. 今、いい事を言っていたと思うのですが、この10年後とかを見たら、結局、少子化でどんどん小学校が統廃合になっていくと思います。その少子化をくい止めるために、移住者を増やしてもらうために、そういう面をもっと打ち出させていただいて、もうちょっとみんなが橋本市に来てもらえるようにして欲しいと思います。小学校がやっぱり地域からなくなるというのは、結局そこに若い夫婦は住まないじゃないですか。近いところへ行こうと、どんどん少子化になって、橋本市も人口が減って残された子供に全部負担が

いくわけですね。だから助成金の使い方も、もうちょっと使うべきところに使っていた
だきたいと思います。それは、市議会の方にもお願いしたいと思います。もうこれやっ
たら、橋本市の先が見えていると思いますが、もうちょっと真剣に考えていただきたい
と思います。

また、学校の先生も複式になるとすごく大変だと思います。授業の復習も2倍しないと
いけないとか、いろいろあるので、先生らのサポートももっとたくさんしていただき
たいと思います。また、学校給食も、去年も途中まで補助していただきましたが、今
はまたお金の徴収が始まったと思うんです。かつらぎ町だったら無料ですね、なぜ橋
本市はそれができないのか、そういうところも、もう少し考えて欲しい。やっぱり少
子化に何でなっているかといったら、日本の先が明るいのをみんな想像できない
と思うんです。だったら、橋本に来たらもっと子育てしやすい、もう1人産もう
かなってというような気持ちになるような政策をしていただきたいと思いま
す。お願いいたします。

(教育委員会)

貴重なご意見ありがとうございます。今、いただいたご意見は教育委員会だけで
とどめるのではなく、市の政策、或いは財政当局ともお話をさせていただきたい
と思います。

(教育長)

ありがとうございました。教育委員会として進めていることは、教育の中身を
充実させるということです。先ほどから子供たちにといいこととお話させてもら
っている部分があるのですが、これは今してなくて、これを目指しているという
ことではなくて、実は今も取り組んでいることです。地域の人たちの力を借り
ながら、子供たちにいろんな考え方が生まれるように関わってもらいながら、
それに対して子供たちがどう答えていくか、そしてどういう行動を起こして
いくか、そういったことを続けることによって地域の人たちからいろんな
評価をいただきます。よく頑張っていますねというようなことをいただきます。
そうすることによって子供たちは、やはり意欲的に問題を見つけて解決して
いくというような取組をしているところです。

この学文路小学校においても、地域の人たちの力を借りながら取り組んでい
たことは、保護者の皆様も知っていただいているかと思うのですが、これをし
っかり取り組んでいくことによって、また私たちが広報していくことによって、
それを見た中で、私自身が学校に勤めているときにも、こちらへ来まし
たと言ってくれた人もいました。ですから私たちが目指しているところ
については、今後も先ほどもからも説明させてもらっているような方針
で、しっかり充実はさせていきたいと思っておりますので、このことを
保護者の皆様、地域の皆様にも理解してもらってということがすごく
大事なことだと思います。学校だけで取組んでいる、教育委員会
だけでやっているとなると、なかなか広がり、そして理解が進ま
なかったら良さというのは伝わっていかないと思うので、そのあたり
は、これからもしっかりと学校と協働する場面のあるところで、一緒
に取り組んでいただけたらありがたいなと思えます。そこは少し
お願いを申し上げたいと思います。

2-1. この21ページの学文路小学校と清水小学校の統合を進めると言って、この西部小学校と橋本小学校は、この学文路小と清水小のまた10年後に編成するってことですか、また、統合するってことですか。

(教育委員会)

中学校区4校ということで先ほど説明させてもらいましたが、そうでございます。この方針の後、計画という形で進めていくのですが、さらに10年先の児童生徒数の推移を見ながら、それを考えていきたいと思ってます。

2-2. 今日は、これだけしか来てないですけども、大体何人ぐらい来られるか想定しているかわかりませんが、まず今日は土曜日で、私らも共働きで土日も仕事している家庭ですけども、子供を預ける場所を学校と連携して、ちょっと涼しいところでも取れなかったのかなと1つ思います。今日は主人が仕事なので連れてきて、ちょっと静かにしてねと言いながら連れてきたんですけど、それも1つ子供の事考えてくれているのかなと。今日、こうやって市のことで私ら保護者の話を聞いてということですけど、今日は、市長は来られないのですかね。

(教育委員会)

まず最初の場所のこと、日のことですが、場所につきましては、すいません、配慮が行き届かず、ここまでしかできていませんでした。それから、時間につきましては、土日もお仕事をされている方がいらっしゃるというのは承知していますが、平日の夜間を考えると、まだ土日の方がたくさん来ていただけるということもあったので、この時間、会場のことも含めて設定をさせていただきました。3点目の市長がこの場にいないのかということにつきましては、本日は、教育委員会の第2期基本方針の説明をさせていただいているということで、教育委員会で参りました。今日は、市長は参りません。

2-3. 今日はこういう会があると知らない保護者さんもいてたんですよ。プリントは配られていたんですけど、読んで何を言いたいのか、それを本当にこないといけないのかという思いをもっている保護者さんもいたと思うんです。あのプリントだけだとちょっと、どうなのかとあって、一保護者として思うんですけど、もうちょっとそのプリントを出すにしろ、わかりやすくという思いを持っています。逆にそう書いてくれた方がもうちょっと集まったんじゃないかなとか、あと時間もそちらにもあったと思うんですけど、参加できますとかそういうのをとるべきじゃないかなって。私も今日たまたま休みだったんですけど、普段は土曜日も仕事しているので、出し方というのもちょっとあったんじゃないかなって。

(教育委員会)

確かに今回、学校側をつうじてお渡しさせていただいたのは、日時とこういったことをしますという端的な1枚ものでございました。貴重なご意見をいただきましたので、できたら

踏み込んだ形で、こういった学校の今後の基本方針の内容というか、概要みたいなもののイメージを掴んでもらえるような形で周知を考え、見ていただき注目しやすいように考え直したいと思います。

2-4. 多分もう統合は決まると思います。橋本中央中学校になるときも、一番上が第1期で、親がどれだけ反対しても、なるものはなると思うんですよね。だからこっちの言った、その給食がどうなるのかというのとか、何年後に目標にしますというのを逆に出して欲しいです。令和10年に統合の目標としますと、これは、私たちは別に望んでいないことで、私たちの望みを目標にしてやってくれたらと思います。

あと、その10年の後、その学文路小になるにしろ遊具はどうなるのか、そういうのもいろいろもう今から考えていってくれているのですよね。ここにするというのだったら体育館にもクーラーをつけて欲しいです。

(教育委員会)

場所につきましては、資料に明記していませんが、まだ決定ではないという前提で聞いていただきたいのですが、学文路小学校では考えさせてもらっていますが、先ほどの遊具のことにつきましては、危ないところというのは、当然学校の先生も目視で点検してもらったりして確認をしているのですが、施設整備に関しては、危険なところというのは、その都度、順番はありますが対応させていただいています。

それから、クーラーの件に関しては、今、意見をいただいて我々もその意見というのは、何とかできないかと考えています。なかなか、大きなことになってきますが、これからどんどん暑くなっていきますので、今いただいたことも踏まえて、持って帰らせていただきます。

2-5. 多分、2024年度までだと助成金が出ると思うのですが、それをまた調べて欲しいです。この暑い中、子供が運動会の練習とか、学校に行かしている保護者からしたら、すごい心配です。

(教育委員会)

承知いたしました。ありがとうございます。

3-1. 11年度を見たら清水は55人になる予定と、学文路は46人になると10ページに書いてあるのですが、その人数で判断されるのだったらもう清水小に統合と、どういう基準でどっちに統合するのかってなるのですか。今のところどういうふうにするように考えていらっしゃいますか。

(教育委員会)

現時点の教育委員会の考えとしましては、この学文路小学校が、平成29年から30年にかけて大規模改修を行っておりまして、施設を整備しています。建物がしっかりしているという形で、一定の考えを持っているのですが、やはり保護者さんからいろんなご意見いただ

き対話させてもらおうと、施設そのものだけでは済まない、いろんな通学のことであったり、人数のことであったり、ご意見をいただきますので、そういった面も踏まえて総合的に考えさせていただきたいと思います。

3-2. その決定が分かるのは、いつになりますか。

(教育委員会)

新しい学校づくり推進計画ということで、ここで言いますと最後の22ページのところに点線で囲っているところがあるのですが、こちらの時期が多少ずれ込むこともあるのですが、今の方針から意見交換させてもらって、パブリックコメントという過程を踏まえて、計画の方に持っていきたいと思いますので、この策定したときがいわゆる市としての決定となります。

3-3. その22ページの表を見せていただいた今日が、この(1)の保護者説明会ですよ、そして保護者説明会は、もう2回目とかもなしで、次の地域説明会になる予定ですか。

(教育委員会)

保護者説明会につきましては、学校再編の対象校の保護者さんを順番にまわらせていただいて、そのあと地域の方に入らせてもらうんですが、それが終わりましたら、もう一度させていただきたいと考えております。

4-1. 説明会は清水小学校が先にされたということなんで、そちらの方でどんな意見が出たのかを知りたいんですけど教えてもらえますか。

(教育委員会)

主な意見としましては、この方針の内容は決定事項ですかというのがありました。この部分だけにつきましては、まだ決定ではございません、基本方針の段階ですというのをお伝えさせていただきました。

また、この方針では、清水小学校と学文路小学校が統合されても1学年2クラスという教育委員会が望む環境には届かないのではないかということから、別の方法も考えるべきではないかというご意見をいただきました。様々なご意見をいただきましたが、後に橋本小学校の統合を考えているなら、子供も保護者さんも2度統合を経験することになる、その負担を考えて欲しいということで、学校がなくなるという経験を何度もさせないで欲しいというご意見もいただきました。

4-2. まだ学文路小学校で決定じゃないってということで、今は進んでいて、さっきの説明にあった推進計画を策定する段階で本決まりになるということですね。

ちょっと今まで受け入れる側だと思って、今の学文路小学校の人がここに出席していない人も、学文路小になるのだったらよかったねという判断で、多分ここに来ていない人も

多いと思うんです。そしたら清水小学校の方の意見をやっぱり聞いてもらって、こっちに負担をかける方の意見をやっぱり尊重してあげて欲しいなとかいろいろ思っていたんですけど、まだ本決まりじゃないよと、もうちょっとちゃんと知っていたら、ここに来る心づもりも違う気持ちで来てたんじゃないかなと思います。すいません、ちょっと考えがまだまとまらないんでここで終わります。

(教育委員会)

きちっとした形でお伝えができていなくて、決定事項ではないと、あくまでも考えであるということで、また、参加される保護者の皆様も考える内容が変わってくるというご意見ということでちょっとおしかりを受けたと思っております。その辺については今後、丁寧に、きちっとお伝えできるように努めて参ります。

先ほどお答えさせていただいていますように、説明会の方は、他の学校の保護者の皆様からも、再度開くようにというようなご意見をちょうだいしています。従いまして、また改めてご説明をさせていただくというような機会が来るかと思えます。その際には、本日いただいたご指摘いただいたことについて、きちっと対応できるように、また、お仕事の関係の方もおられますので、時間帯それから託児等も、きちっと対応できるように努めて参りたいと思えますので、その点については、お詫び申し上げます。

本日はありがとうございました。

説明会に出席していただいた保護者の皆様から意見書に記入いただいた意見、並びに欠席された保護者から提出いただいた意見の内容です。

5. 子供たちがより良い環境で学びができれば良いです。未来の子供たちのために頑張ってください。

6. 子供の人数がますます少なくなるので、統合はやむを得ないと思います。スクールバスが運行されるのであれば問題は無いと思っています。

7. スクールバスを考慮する通学条件が小学校で3 kmから2 kmに短縮されている点は良いと思います。健康面・安全面を考えると妥当と思われます。隅田中学校区、紀見東中学校区の統合が令和9年度目標となっており、準備期間がやや短い印象があります。当事者となる児童、保護者の納得性によっては、令和10年度に延ばすことも検討された方がよいかもかもしれません。

学文路小学校と清水小学校の統合については、特に意見はございません。

8. なかなか難しいことなのかもしれませんが、学文路小学校、清水小学校の児童たちはほとんどが橋本中央中学校へ進学することになると思います。なので、これからどんどん児童が減ることを見越して橋本小学校との統合は難しいのでしょうか。

9. 学文路小学校と清水小学校が統合しても、1学年2学級以上にならないければ意味がないと思うので、2校が橋本小学校と一緒にの方が良いのではないかと思います。

10. 少子化で、中学校区単位での統合をすることは理解できますが、子供たちの負担（通学の安全面、学習指導等）を最優先に考え、統合の前に具体的な対処・対策を求めます。

11. 資料を読ませていただきまして、これから少子化が進み、橋本市の人口動態と児童生徒数も変化していきますが、子供たちのことを第一に考えていただき、新しい学校づくりを進めていってもらえたらと思います。

12. 資料を読ませていただいて、私たちの受けていた授業の形式が違ってきて、どんどん自分から進んで学んでいくものだと学びました。

私の娘は統合する頃には、もう関係なくなるので何ともいえませんが「清水保育園」が「学文路さつきこども園」に変わる時にとっても不安でいっぱいだったので、保護者の不安な気持ちを聞いていただけたらありがたいと思います。いつもより良くするために考えてくださりありがとうございます。

13. 人口の減少が激しそうな橋本市河南地区において、小学校の統合はいずれやってくると思っていたので理解はしています。今回は、学文路小に清水小の校区の児童が通うとすることで広範囲の通学になるので、通学バスは必要かなと思いました。

学文路+清水で統合して、さらに10年後となると(?ですが)今度は橋本にまた統合されていく可能性もあれば、その時のタイミングの児童・保護者への負担も気になるところです。清水の人にとっては、橋本小へ通いたいという思いの方も多いのかもしれないと思いました。(近いから?)

基本的にこういった問題に私は反対はしません。幼稚園・保育園の統廃合のときに経験しましたが、仕方のないことです。数年にわたって学校ぐるみでの交流を深めていくことは必要なかとは思いました。

14. 運動会の際の車の駐車場(学文路の時、清水の時)。体操服など。統廃合後の避難所。